

3.
2022

令和4年3月

welfare
MAHOROBA
たがいたてあしたのすけあい

—まほろばだより—
MAHOROBA
DAYORI

「 祈り 」

社会福祉法人まほろば 理事長 飯降 政彦

まだまだ先の見えない新型コロナウイルス、ますます激化するロシアのウクライナ侵攻、そして、先日3月11日で東日本大震災から早や11年。

これらの不幸ごとに、私たちは何を思い、何を考え、どう行動すればよいのでしょうか。

私達の奉ずる陽気ぐらし世界への道が啓示されてより130年余り、今年の10月より、道をご教示下さった教祖の140年祭(2026年1月)に向けて、三年千日の年祭活動の歩みが始まります。

10年毎に迎えるこの教祖の年祭には、あらためてその教えを自らに問い、世の人々に強く訴えていく、それが年祭活動であり、私達の信仰の日々であります。

翻って、人間は、コロナの収束、国と国との戦いの治まり、地震をはじめ津波、火山の噴火、山火事など、天災、自然災害、これらに対して一人ひとり全く無力であり、どうすることもできません。

ここで、2013年に101才で亡くなった詩人・柴田トヨさんの残した詩を思い出します。

東日本大震災を乗り越え、強く生きようとしている被災者たちの姿に励ましを与えた詩集「くじけないで(2010年)」「百歳(2011年)」が累計200万部を記録しました。(共に「飛鳥新社」刊)

「被災者の皆様に」

ああなんということでしょう
テレビを見ながら

唯 手を合わすばかりです

(中略)

これから 辛い日々が続くでしょうが
朝はかならず やってきます
くじけないで!

私は以前、ウクライナの国立キエフ大学と連携を結んでいる天理大学の学長として、同大学を訪れましたが、それだけに今の惨状は他人事とは思えず、身につまされるものがあります。いつ終わるとも知れない砲弾や銃撃の恐怖にさらされ、更に食品、飲料水、生活必需品、医薬品などの入手に大変な不自由をかこっておられるウクライナの人々に私たちの祈りが届きますよう、一日も早く元の生活に戻りますよう祈りたいと思います。

どんどん新種が出て、世界中で広がる一方の新型コロナウイルスに罹患され、辛い思いをされている方々にも一日も早い全快とコロナ禍の収束をお祈り申し上げたい。

人は、どうしようもない状況の時、祈りを込めて手を合わさざるを得ません。非常時に手を合わせるには、常日頃から手を合わせる祈りが大切なのではないでしょうか。非常時のみに祈るのではなく、平素から人々の幸せ、平和な世界、陽気ぐらしの世界の実現を祈願するとともに、その祈りにふさわしい一人ひとりの思考行動こそが大切だと思うのです。

まほろばカフェ 「MAHOROBA GRANDIA GO」 OPENに向け準備中

「社会福祉法人まほろば」が以前取得した土地に研修棟として利用されていた建物があります。建物が古くそのまま使用するのが難しいので、職員や多くのボランティアの方々にご協力頂き、1階と2階の一部を改装しカフェとして利用する事になりました。

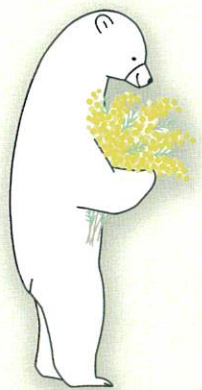
カフェの収益はこの土地を取得した本来の目的である災害危険地域(現法人所在地)からの移転に向けての資金積立となります。カフェがオープンしましたら是非ともご活用ください。

1F カフェ (メイン)

Before (改装前)



After (改装後)

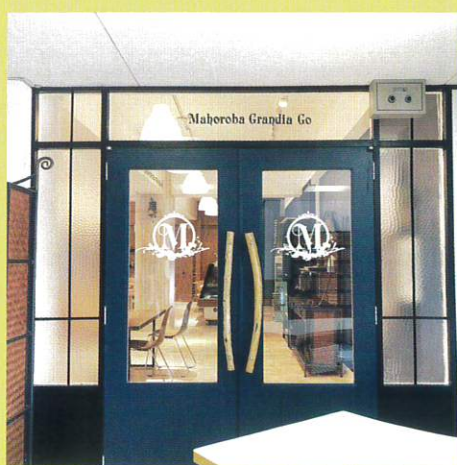


研修棟正面玄関



2F カフェ (イートインスペース)

1F カフェ入口



カフェ名 MAHOROBA GRANDIA GO
(マホロバ グランディア ゴー)
GRANDIA→GRAND【壮大な】+DIAMOND【ダイヤモンド】
を組み合わせています。大地を開拓していく輝かしさを表現しました。

営業時間 11:00~16:00
営業日 土日祝
場所 兵庫県神戸市西区神出町古神224
※上記予定ですが、変更する場合があります。

カフェ玄関



映えるフォト
スペース!!

F1 カウンター席



カウンター席の
窓からは幻想的な
景色が…。



たまたまピザの窯を格安で譲って頂ける運びになり、当初お菓子とドリンクメニューと進めていたカフェも、パンの職人を中心にピザメニューを考案し、オープンに向け準備を進めています。



回想録

～素晴らしい人達との出会い～
渡邊社中 渡邊和美先生



社会福祉法人まほろば
常務理事 門口 守子

花道、茶道の指導をしてくださった渡邊社中の渡邊和美先生との出会いは、私の長女と姪が花道を習っていた38年も前のことです。

昭和62年4月の三木光司園開園の時、花道を教えて欲しいと先生にお願いし、開園と同時に花道教室が始まりました。利用者さん7-8人と先生、指導員1人と私とで始めましたが、当時は、私も障がい者のことがあまりわかっていない状態でしたので、ハサミを持つことさえ心配でした。ある時、先生が一人の利用者さんに菊の花の茎を下から5cmほど切るよう指示をしました。するとあっという間に上から5cm切ってしまったという出来事もありました。そんな始まりでしたが、花道教室がクラブ活動として30年間も続き、また渡邊社中の協力を頂きながらまほろばカーニバルや感謝祭にもそれぞれが個性のあるお花を活けて皆さんに喜んでいただくことができました。花道が始まって半年ほどたった時、先生がお茶（茶道）も教えたいと言ってください、園庭にあった小屋に畳を敷いて茶道教室が始まりました。平成2年に福祉工場（当時の呼び名）の建設が始まるため小屋を退ける事になり、お稽古を休むことになった時、せっかく少し慣れたのに何ヶ月も休むと元に戻ってしまうと言われ、丁度その時、先生の自宅に本格的なお茶室が完成した時であったので、そこに連れて行き教えたいと言ってくださいました。

私は、まだお披露目もしていないできたばかりの新しい立派なお茶室で（当時はパニックを起こしたり、失禁のある利用者さんがお稽古に使うのは）何が起こるかわからないのにと断りをしましたが、先生は、「そこで起こった事は全責任私にある。もし襖が破れたり何か起こった場合、私の第一声にどんな言葉がでるかが私の修行である。」と言われました。その時、茶道って素晴らしいと思ひ、また先生も素晴らしいと尊敬しました。このような先生との出会いに利用者さんも私たちもとても感謝しています。

【渡邊和美氏 経歴】

華道嵯峨御流正教授・茶道表千家流講師
元明石市花道協会幹事
元三木市いけばな協会幹事
元華道嵯峨御流みなと司所司所長・顧問
元社会福祉法人まほろば評議員（H8年3月～R3年6月）
元社会福祉法人まほろば苦情解決第三者委員
（H29年4月～H31年3月）



（ご主人）
門口守子 渡邊和美さん 故 渡邊嘉之さん

「JFS-B規格」を取得しました！
(ウェルフェア)まほろばは2019年度から取り組みを始め、約2年をかけて

昨年11月に取得することができました。この規格は法律に対応した衛生管理を実施している証明にもなり、この認定をうけたことで、まほろばの製品が安全・安心である事を消費者や取引先に示す事が出来る他、衛生・品質管理レベルの向上など、一層の効果が期待できるようになりました。取り組んでいく中で、仕組み作りに悩んだり、現場では慣れない記録や作業に戸惑うこともありましたが、みんなの意識も向上したよう思います。「食の安全・安心」ということに年々関心が高まるなか、より良い製品を皆様にお届けできるう従業員一手一つとなって頑張っていきます。

金属検出機は重要な工程、使用時の作動確認。



使用した材料の賞味期限・消費期限などをその都度記録します。



「JFS規格」とは、農林水産省支援の下、イオン、セブン&アイHD、日清製粉といった国内の食品関連企業が設立した組織によって発行される食品安全の認証規格です。



永年勤続

ウェルフェアまほろば
勤続31年
佐治郁雄さん

佐治郁雄さんは平成3年4月にウェルフェアまほろばに入職され、今年4月で勤続31年を迎えられます。入職当初から製パン部門に携わるベテラン従業員さんです。また、プライベートではご結婚15周年を迎えられ、二人のお子さんもいらっしゃいます。



佐治郁雄さん

郁雄さんご一家にインタビュー

Q 勤続31年おめでとうございます。今はどんな作業をされていますか？

郁雄さん：主にパンの成形作業や、オープン管理をしています。製パン部門の仕事は大体できます。

Q 仕事をする上で大切にしている事を教えてください。

郁雄さん：失敗しないように作業する事です。パンは出荷の時間が決まっているので、時間との戦いです。

Q 仕事のやりがいを感じるのはどんな時ですか？

郁雄さん：仕事はしんどくて大変な事が多いです。だけど、今まで続けてこれた事を嬉しく思います。

Q ご家族からお父さんに是非一言お願いします。

奥さん：長い間頑張ってくれて嬉しいです。これからも頑張ってください。
お子さん：お父さんが作るパンは美味しい！これからももっと頑張って！



ティーチ班の冬のとある一日の活動

ティーチ班では、作業室での作業以外に外へ出て（収穫・掃除）活動するなど、一人ひとりの得意分野で活躍できるように工夫しています。また、作業の内容も役割分担することで色々な作業に挑戦したり、出来るようになっていくのでやりがいや達成感があり、職員としても嬉しいです。

A パターン

午前 ☆しいたけ収穫↓



B パターン

午前 ☆シール貼り↓



○自立課題
●プレテック部品
組み付け(自動車の部品)

C パターン

午前 ☆しいたけ計量・袋詰め↓



※Cパターンの午前の作業をするには…

- ・シイタケを入れる袋に表シールを貼る
- ・量りを使って計量する
- ・シイタケの向きを揃えて袋に入れる
- ・バックシーラーで袋の口を留める

など、いくつもの手順があります。作業を細分化し、分担する事で効率よく取り組めるようにしています。

午後 ☆しいたけ掃除↓



午後 ☆シール貼り↓



○自立課題
●プレテック部品
検品(自動車部品)

午後 ☆しいたけ出荷準備↓



☆乾燥しいたけ計量・袋詰め

※「ティーチ班」ってどんな班？

TEACCHプログラムを取り入れた自閉症支援に特化した作業班です。職員は自閉症の方が社会の中で有意義に暮らし、できるだけ自立した行動ができるようにする支援に努めています。

水耕栽培の紹介

母屋では野菜の水耕栽培を行っています。通年栽培しているサラダほうれん草は、定植後夏場で約14日、冬場は約1か月で収穫することができます。栽培期間中、一切農薬を使用していません。ハウスの扉は、虫の侵入を防ぐために二重扉になっています。安心・安全で品質の良い野菜を提供出来るように、工夫しながら取り組んでいます。

作業は2班に分かれて作業しています。

ハウス班

利用者：3名
収穫・栽培・定植・用具の洗浄を行っています。体力が要るので男性活躍中。



栽培中の野菜

通年：サラダほうれん草 季節もの：春菊
サラダ水菜 わさび菜
ルッコラ リーフレタス

出荷班

利用者：5名
出荷場内で野菜のそうじ・袋詰め・出荷の段取りを行っています。細かい作業が多く、1つ1つ丁寧な作業を心がけています。



主な販売先

・靴のヒラキ ・わくわく広場
・めぐみの郷 ・近隣の野菜直売所

母

MOYA

ウ

WELFARE
MAHOROBA

和

NAGOMI

合同
運動会令和3年
10月27日

天候にも恵まれ、古神グラウンドで合同運動会を開催しました。皆が楽しそうに参加していた中で、一番盛り上がった競技は“パン食い競争”です。好きなパンめがけて走り、パンが取れた時の嬉しそうな顔は忘れられません。自分が選んだお弁当を食べ、ソフトクリームを食べたら終わりです。帰る時には「今度いつするの?」と、とても楽しんでくれた様子で職員も嬉しくなりました。

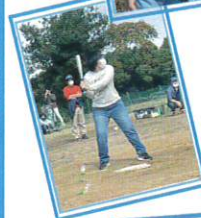
【室内活動】

- ・室内運動器具
- ・ジェンガ
- ・黒ひげ危機一髪
- ・クラッシュアイスゲーム



【競技】

- ・ソフトボール
- ・バレーボール
- ・バドミントン
- ・卓球
- ・ざる引き
- ・スプーンレース
- ・パン食い競争



光

MIKI
KOUJEN

中学校を卒業後、まほろばに入られて30年目になります。MIKIまほろば、母屋を経て三木光司園を利用されています。今回は、三木光司園のお仕事やホームにっこりではどんな風に過ごしているのかなど、インタビューしました!



三木光司園
境谷みゆきさん

Q 作業ではどんなお仕事をしていますか?

- ★イチゴのパック詰め
- ★イチゴハウスでイチゴの収穫
- ★イチゴのシール貼り（出荷の準備）をしています。

Q やってみたいこと、挑戦してみたいことはありますか?

- ★お家やにっこりさんで、ゴミ捨てやお茶碗片付けなど手伝いをしたいです。炒め物の練習をしたいです。

Q お仕事で一番大変なことは何ですか?

- ★イチゴの枝取り（花芽取り）が難しいです。

Q 休みの日は何をして過ごしていますか?

- ★にっこりさんで、計算ドリルと漢字ドリルをしています。テレビをみたり、音楽をきいたりもします。お気に入りにはジブリのオルゴールCDです。



ご報告

令和4年年頭式執行

令和4年1月5日(水) 11時から古神研修棟大ホールにおいて年頭式を開催いたしました。昨年は、コロナ感染予防のため各事業所ごとに分かれ、オンラインで行いましたが、今年は感染状況が少し落ち着いていたため、一つの会場で行いました。

理事長新年のあいさつで、

「本年も法人の理念・三つの信条を胸に治め、
誠真実の変わらない心で勤めていただきたい。」
とお言葉を頂きました。



寄附金受領報告

○令和2年度に受領した寄附金 1,863,604円

○令和3年2月～12月中にご寄附いただいた方々(敬称略)

渡邊社中 上月収 小川裕右 中尾洋一 中祥元 井岡政嗣 百合岡事務所 本城敏子
T&Mテクノロジー(株) 木村工業(株) 木下修一朗 奥村進一 (株)西畑土建 斎藤和代
末澤義博 神姫トラストホープ(株) 丸山克己 飯田登代子 (株)ウチダ 西村茂子 川野由紀子
細木宏員 酒井理晴 ミナトパックス(株) 高田珠美 (株)末松石油店 井筒茂弥 広瀬りえ
辻章 石黒勝信 石黒こま 山口龍廣 山瀬好雄 奥泉勝夫 永松陽子 岡村晃 岡村和美
(株)コトブキベーキングマシン 松浦道隆 (有)加古美装 吉田はなゑ 森田正春 中川千鶴子
榎本洋 (株)アシス 古畑泰二 土肥亜子 松浦葉子 中嶋賢一 中嶋道治 (株)佐々部材木店
(株)かつら 村井育子 西村幸子 石川(株) 中川俱子 富森裕 朝倉禮子 吉本節子 登愛子
本村文子 釣上啓行 川島祥子 原口道子 鈴木裕子 竹本真弓 服部博之 まほろば後援会
多くの皆様にご協力いただき感謝し御礼申し上げます。いただいた寄附金は、障害者福祉の更なるサービス向上及び社会福祉事業発展に資するため有効に使わせていただきます。

ボランティア活動報告

ボランティアセンター「ひのき心」及び古神研修棟玄関ホールにおいて、週2～3日程度交替でパンの販売ボランティアをしてくださっている方々です。感謝しお礼申し上げます。

高田珠美 田井久美子 竹本真弓 本村文子 川野由紀子 本城敏子 岡村晃 岡村和美
西馬敬子 野口節子 大林幸子 ヤング神戸ドラゴンズ保護者の皆様(敬称略)

法人行事について

毎年開催しております「まほろばカーニバル」及び「まほろば感謝祭」は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、誠に残念ですが今年も中止とさせていただきます。一日も早く終息し、また皆様にお会いすることができるよう願っております。

寄附の募集

社会福祉事業の発展及び一層のサービス向上に資するため、皆様のご寄附をお願い申し上げます。ご賛同いただける場合は、同封の払込用紙をご利用いただくか、下記口へお振込みをお願い申し上げます。

郵便振替口座：00950-3-238721 社会福祉法人まほろば



●ご連絡は郵便、電話、FAXでお寄せ下さい

〒673-0434

社会福祉法人まほろば

住所：三木市別所町小林字仕負谷118番地111

電話：0794-82-9457

FAX：0794-82-3784

担当：広報係迄

ホームページ：<http://www.mahoroba.or.jp>

QRコード

